

ひろば

大代

平成 4.15

大代公民館

辞任のこあいさつ

上市 橋本昭二

「どう見てもその任ではありません」と固くご辞退致したにもか、わりませず、八年間に亘り館長の座を与えて頂き、大変恐縮致しておりますが少し遅きに失した様で申訳御座いません。

然し幸にも後任の田辺孝先生は、学識豊富で、人格も陶冶され、併せて何事も最後迄やり通すと言う強い御意思の持ち主です。

従って今後の公民館活動に、社会教育の推進に非常に期待する所が大であります。

運営委員の皆様を初め、町内の皆様方の御協力を賜り、過ぎ去った日々に対し心から感謝致しております。

田辺館長のもとに「住みよい大代」「明るい大代」の町づくりを進めて頂きたいことを希って私の館長辞任のこゝとばと致します。

公民館長就任の挨拶

下市 田辺孝

全員一致によるご推挙で、公民館長に就任することになりました。

実はご指名いただきました際、私はそのうつわでないことを知っておりますので、ご辞退申しあげたのですが、とうとう口説きおとされて公民館長を引き受けざるを得なくなりました。

前橋本館長のような能力も手腕もある優秀なお方の後を受け継ぐというのは、私のような非才な者にとりまして正直申しまして、大変なプレッシャーを感じております。果たして重責に耐え得るかどうか、やってみようと思っております。他に確信がありません。これから先、大変なご面倒をお掛けすることと存じますが、何分ともよろしくお願い申し上げます。

さて、公民館における社会教育とは何か、それは「自ら学び続ける心豊かな人づくりをめざして」にあると思えます。

(1)、地域に根ざした学習（まちづくりに関する講演会・講座・文化財の掘り起こし・伝承活動・郷土学習

など）

(2)、人間らしさを育くむ学習（人権を考える学習・同和教育など）

(3)、健康に関する学習（健康教室・健康ウォーク・スポーツ行事・健康体操など）

これらの学習を通して町民参加の心のつながりを深め、人生の幸せを感じてゆく事が大切になってまいります。

大代町から市原市議員さんが誕生しました。対話を重ねお互い建設的な課題づくりをしながら前進して参りましょう。町の活性化のためにも躍進したいものです。

館長をお引受致しましたからには、できる限りの力を公民館の為に尽くしたいと思えます。

どうか、皆様のご指導ご援助を切にお願い申し上げます。

入学式

「もう春なんですわね」

本郷 日向一美

「お父さん、高一！望！光ちゃん。朝ですよ。起きなさい。」階段を、

とんとんとかけ上がり、それぞれの名を呼ぶ私。この春から、光の名も加わった。

四月から長男は四年生に進級し、次男はピカピカの一年生。そして長女も待ちに待った幼稚園に入園した。

あわただしい朝がまた一段とにぎやかさを増した我家である。

春の嵐とでもいうように、満開の桜を散らす雪花が、印象的な入学式であった。でもそんなことは気にもせず、心は晴れ晴れ、ウキウキの子供達。そして私。

たった六名の可愛い子供達の入学式その姿を優しい眼差しで見届けることのできる幸せは、親なればこそその喜びと感じている。

もう春なんですね。

長く重苦しい冬も、いつの間にかやら明けて、可愛い小鳥の囀りや、優しい花の香りに誘われる。我家にもやっとな春が来た。そんな喜びで胸がいっぱいです。いつまでも子供の成長を心から喜んであげられる、そんな親でいたい。そして私も子供達に負けないうよう、いつまでもキラキラと輝く、素敵なお親で

いたいと思う。

「入学祝が

北海道から届いたんだ!

下飯谷 高村玲子

北海道から帰って、丸一年たちました。

た。

「北海道と違って、桜の花の中での入学式はいいね。今年はずっと満開だよ。よかったね。」

なんて話をしていましたら、雪のオマケ付きで長男の入学式を迎えました。

「かずの入学祝が北海道から届いたんだ。」とおじいちゃん。

緊張の入学式を終えて、ピカピカの一年生はどんな気持ちでしたのでしょか。私の方がなんだか胸が熱くなつて、ドキドキしたりしてしまいました。

どっちが一年生で入学だったのか自分がおかしくなったりしました。

一雄は家に帰ると、セフティランドセルを何度も何度も背負って見ていました。

入学して十日たちますが、一雄は、「一年生」に大満足している様子です。すぐくはりきっています。毎日が充実

しているって、素敵なことだと思わずにはいられません。

今の気持ちを大切に、六年間、元気に通学してくればと願っています。親もまた今年から何回めかの一年生です。

こどもの日について

(五月五日)



「児童福祉週間」

子どもが幸福に成長することを願う意味で、昭和二十四年から設けられた国民の祝日です。

五月五日が端午の節句であったところから、この日に定められたのです。

「端午の節句」は、中国から伝わった古い風習で鎌倉時代から男子の祝日でしたが、「こどもの日」の設定後はみな一緒に、というのは男女平等がうたわれた新憲法にのっとり、区別しない

で男女ともに、この日を「こどもの日」とし、国民こぞって、次代をなう子どもたちの、すこやかな成長を祈ってお祝いすることになったのです。

当日は、全国的に多くの祝賀会や催し物が行われ、児童憲章の理念にそっ

た、子どもを守るための会が各地で開かれるのです。

いっぽう、家庭でも男の子の成長を祝福して、昔のように煙の吹き流しをあげて、端午の節句と同じ祝いごとをやっているところもあります。

五月五日は子供の日

児童に対する正しい観念を持って、児童の幸福を考えてみよう

児童憲章

- ◎児童は人として尊ばれる
- ◎児童は社会の一員として重んぜられる
- ◎児童は良い環境の中で育てられる

表彰

◆交通安全無事故表彰

平成元年度後期



第一位 大代町

去る四月六日、テント村に於て大田市本年度後期に於ける、交通安全無事故、無違反運動推進に当り、地域の皆さんの成果が評価され、大田市交通対

策協議会々々長、同安全協会々々長、同警察署長より前期に続き表彰状、トロフィーなどが贈られ、自治会連合会長、安全協会会長外夫々の代表が出席、受領致しました。

(公民館図書室に掲示)

尚来年度についても是非立派な成績が得られる様皆様の御協力をお願い致します。

◆島根県知事表彰

功労賞 飯谷平 高村賢蔵様

過去二十二年数ヶ月に亘る大田市週辺の造林事業(下刈、枝打、植樹)に對する顕著な努力が認められ、去る四月十一日、能義群伯太町に於て県知事より功勞表彰状、金盃が贈られました

春の花 (その二)

下市 田辺 季

葉ザクラになると、野や山も緑を深める季節です。

春の花々は今を盛りと勢ぞろいして庭のあちらこちらで互いに語り合うかのように見えます。カーネーションやきんぎょ草、ひなげし、ルピナスなど

が、早春から咲いていたパンジーやデージーに追いつき、またアネモネやシヤクヤク、すずらん、バラの仲間も顔をそろえて、親しげにほほえみかけてくるのです。緑の風がこちよく髪をなびかせるのもこの時期です。

南のほうから梅雨前線がのぼり始める季節、春ももう終わりを告げ庭の花も初夏の準備にとりかかります。

美しい花色とかわいらしい形で人びとの心を楽しませ春を満喫させてくれた、たくさんの春の花は、その役目を終えて、来年また花開くことを約束しながら退場していきます。

シヤクナゲやサツキなどが春の最終ランナーとして、夏の花々にバトンタッチをするのです。

人事異動

四月の人事異動

大代町では春の人事異動によって次の通り転出、転入或は役員の変更などがありました。

公民館では今回、八年の長きに亘つて都市交流や地域活性化の為に懸命の努力を頂いた橋本館長が勇退され、か



わって田辺孝氏が任命されました。

館長 下市 田辺 孝

◆公民館運営委員 (十一名)

市議 市原仁郎 前館長 橋本昭二

小校長川上光久 自連会長永井吉一

婦人会後藤マサ工副会長 藤井房子

青年団中垣 裕 民生委員高崎 脩

一般 日向高弘 一般 井谷英美

〃 小笠原恵功

◆自治会

上市 後藤 正 八反田 中垣昌文

下市 永井吉一 本郷 日向 良

植松 窪田 忠 山田 原田一徳

四日市荒本恵宗 平 曾根 勇

椿 高崎 脩 上飯谷 梅木俊美

柿田 谷口喜義 下〃 徳永敏政

川上 笠井節夫 弓久 岡田 登

下谷 竹間 茂 右原 斎藤正治

◆自治会連合会

会長 永井吉一 副会長 高崎 脩

副〃 岡田 登

監事 荒本恵宗 同上 後藤 正

幼稚園運営審議会々々長 兼務

社協大代支部長 永井吉一

消防後援会長 原田一徳

交通対策協議会々々長 日向 良

有線放送協会理事 中垣昌文

◆交通安全協会

会長 市原仁郎 副会長 和田公一

監事 渡 吉正 同上 坂本静雄

会計 島田民一

◆体育協会

会長 木村幸二

副会長永井利樹 同上 榎原 広

事務局飯田 徹

◆大代中学校 (転出)

教頭黒谷達典 平田中学校へ

教諭氏家俊行 八雲中学校へ

〃 武田勝義 斐川中学校へ

◆大代小学校 (転出)

教諭和泉まゆ子安来荒島小学校へ

*かわって次の先生方が転入されました。

◆大代中学校 (転入)

教頭高瀬 潔 平田中学校より

教諭畠山直文 出雲市四絡小学校より

〃 榎恵美子 大田第一中学校より

◆大代小学校 (転入)

教諭星明撰子 五十猛小学校より

◆大代農協

退職 中垣昌文

大代支所長 沖 昌園

5月少年健全育成指標
スポーツや読書に親しもう

おしらせ

◆赤ちゃん誕生

おめでとーございます。

四日市 渡利正昭

〃 敦子 英貴ちゃん

柿田 横手昌則

〃 純子 明日香ちゃん

◆上市 市原和秀様

先日公民館へコーヒーセット外、多数の陶器漆器類を御寄贈頂きました。

◆社協大代支部から

下市 渡利隆典様より

香典返しに替えて金一封の御厚志を頂きました。

頂きました。

以上合わせて厚く御礼申し上げます。

◆うずき会奉仕

新屋山辺神社春祭準備に合わせ、

うずき会の皆さんにより、桜の苗木そ

めいよしの(六十本)の記念植樹が行

われました。御苦労様でした。

